

腸チフス、バラチフス病原体保有者検索月別成績

自昭和三年六月一日  
至同 十月末日

警察署別	六月			七月			八月			九月			十月			合計	検査人員一 萬ニ對スル 發見率
	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計		
合	二、四三〇			一、八三三			二、八八五			一、五七二			二、六二六			三・四	
三宮				五、四〇			三、八八五			一、五七二			二、六二六			三・四	
相生橋				五、六九			三、一〇五			一、五七二			二、六二六			三・四	
湊川																	
兵庫																	
水磨上																	
須磨																	
林田																	
姫路																	
尼崎																	
明石																	
西宮																	
御影																	
芦屋																	
廣根																	
寶塚																	
三田																	
三木																	
社中																	
北條																	
加古川																	
高砂																	
高橋																	
飾磨																	

警察署別	六月			七月			八月			九月			十月			合計	検査人員一 萬ニ對スル 發見率
	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計	検査人員	腸チフス スラフス	計		
合	二、七三			一、〇三			一、〇三			一、〇三			一、〇三			六・九	
龍野																	
網干																	
赤波																	
那波																	
上郡																	
佐用																	
山崎																	
安藝																	
豊岡																	
城崎																	
日高																	
香住																	
出石																	
八尾																	
和歌山																	
生野																	
村岡																	
濱坂																	
柏原																	
佐治																	
篠山																	
洲本																	
志保																	
郡家																	
岩手																	
市村																	
福井																	
伊丹																	
合	二、七三			一、〇三			一、〇三			一、〇三			一、〇三			六・九	

腸「チフス」「バラチフス」病原体保有者年齢別表

計	腸チフス		種別
	男	女	
			一才迄
			十才迄
			二十才迄
			三十才迄
			四十才迄
			五十才迄
			六十才迄
			七十才迄
			八十才迄
			八十一才以上
			計

(市部及ビ阪神間ニ於ケル)腸「チフス」「バラチフス」病原体保有者検案成績(職業別)  
(至昭和三十二年一月一日 十月末日)

別	腸チフス		種別
	男	女	
食料			計
支那支			
飯			
天ぷら			
惣出			
生魚			
氷			
アイス			
アイス			
清涼飲料			
湯			
煮			
煮			
八百			
飲食			
飲食			
果物			
餅			
下宿			
其			
前年			
本年			
計			

検査人員 一万人 対 スル 率	合計	須磨		林田		姫路		明石		西宮		御影		芦屋	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
二・三	二・三														
一・七	一・七														



發見保菌者職業別檢索成績表

職業別	檢索人員	發見保菌者		檢便人員 一萬ニ對 スル發見	職業別	檢索人員	發見保菌者		檢便人員 一萬ニ對 スル發見
		勝チアス チアス	計				勝チアス チアス	計	
食料市場	四〇九	—	—	二・三	飲食物販賣	四〇九	—	二・三	
料理品屋	一五八	—	—	一・七	果物屋	一五八	—	一・七	
水	一五三	—	—	七・四	本年罹患全治者ノ内女中	一五三	—	七・四	
アイスクリーム、アイスケーキ屋	三三〇	—	—	六・五	本年罹患全治者ノ内農業	三三〇	—	六・五	
涼飲料水	三三〇	—	—	二・六	無職	三三〇	—	二・六	
關東煮	七五	—	—	一・〇	同飲食店	七五	—	一・〇	
八百屋	三三	—	—	三・〇	同商業	三三	—	三・〇	
計	二二二	—	—	二二・九	計	二二二	—	二二・九	

四、「腸チフス」其他傳染病豫防宣傳及傳染病日報ニ就テ

前述ノ如ク腸「チフス」豫防警戒ニ就テハ保菌者檢索ニ最大ノ努力ヲ拂フノミナラズ豫防注射ニ檢病的調査ニト緊密ナル防備ニ盡シツ、アルニ拘ラズ一ハ季節ノ關係上漸次増加ノ趨勢ヲ示シ、七月末現在ニ於テ既ニ一千三百餘名ヲ算シ縣下各地ニ傳播シ昨年ノ當期節ニ於テ七百二十餘名ナリシニ比シテ約二倍ニ達スルノ情勢ニアリ、茲ニ於テ八月二日縣發第一八〇號ヲ以テ縣下各郡市醫師會長ニ對シ腸「チフス」豫防ニ關シ通牒ヲ發シタリ、即チ本年ノ流行殊ニ甚ダシク傳染力猛烈ナルヲ以テ早期患者ノ發見、又豫防消毒方法等ニツキ遺憾ノ點ナキヤウ其ノ豫防警戒ニ就テ醫師會ノ盡瘁ニ俟ツ所多キヲ以テ當該官吏及吏員ト協力アリタキ旨依頼スル所アリタリ(別項檢發寫參照)

而シテ同日衛通第二九號ヲ以テ各警察署長ニ對シ醫師會ト協力シ以テ「チフス」撲滅ニ一層ノ努力アリタキ旨通達ヲ發シタリ  
尙、翌八月三日檢發第一八〇號ノ一ヲ以テ各市町村長ニ對シ、縣下各郡市醫師會長ヘ「チフス」豫防ニ就テ盡力アリタキ旨依頼シタルヲ以テ當該官吏、醫師會員ト協力ノ上、本病ノ豫防撲滅ニ努力アリタキ旨通牒ヲ發シタリ。

又衛生課ニ於テハチフス、豫防ニ關シ、リーフレットヲ印刷シ衛通第三〇號ヲ以テ各警察署長ニ對シ、之ヲ送付シ公衆衛生上關係アル營業者等ニ適宜ニ配布シ、尙必要アル場合ハ市町村又ハ衛生組合其他ノ團體ヲ指導シ適當ニ増刷ヲナシ、弘ク警戒心ヲ普及セシムルヤウ通達ヲ發シタリ。リーフレットハ左ノ如シ。

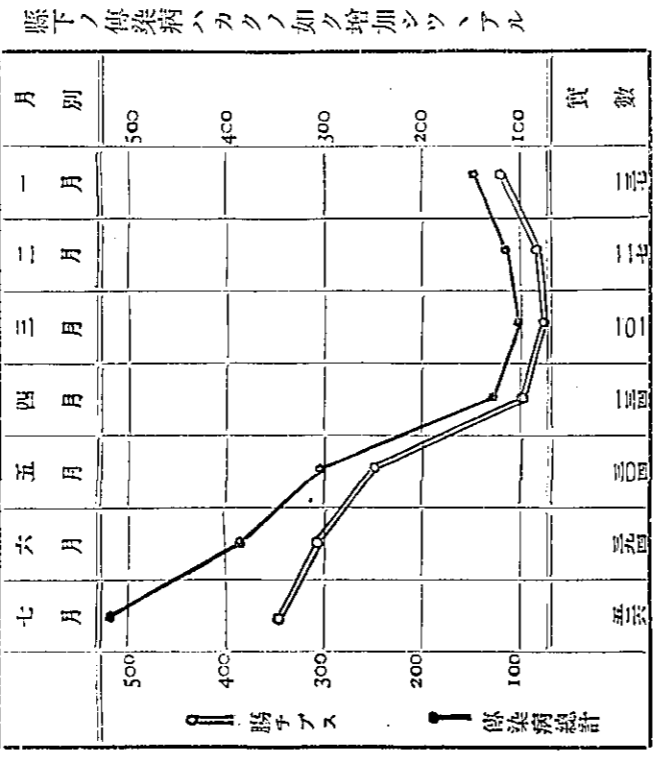
クロール石灰水投入量

市街	市街	二尺五寸		三 尺		四 尺	
		投入量 瓶ノ	瓶ノ	投入量 瓶ノ	瓶ノ	投入量 瓶ノ	瓶ノ
一	二	五	五	五	五	五	五
三	四	五	五	五	五	五	五
五	六	五	五	五	五	五	五
七	八	五	五	五	五	五	五
九	十	五	五	五	五	五	五

井戸水量早見表

井戸	二 尺		三 尺		四 尺	
	水量	水量	水量	水量	水量	水量
一	二	三	四	五	六	七
二	二	三	四	五	六	七
三	二	三	四	五	六	七
四	二	三	四	五	六	七
五	二	三	四	五	六	七
六	二	三	四	五	六	七

- 井戸水ノ簡易消毒法
- クロール石灰水ヲ作ルニハ面粉(クロール石灰末)二〇瓦ラビール瓶(大瓶六〇〇cc)ニ入レ水ヲ加ヘテヨク振りマゼ水ノ澄ムノヲ待テ上水ヲ井戸ニ入レル
  - 井戸ニ入レル分量ハ右ノ表ニヨツテ一日一回夜間午後九時頃投入スル、入レタラヨクカキマワスガヨロシイ。
  - 藥ヲ入レテカラ三十分程タテバチフス菌其他病菌ハ死滅シテシマヒマス。
  - クロール石灰水ハ作ツテカラ久シク置クト効能ガウスイカラ新シク作ツタモノヲ用フ方ガヨロシイ



特ニ腸チフスが流行ノ大部分ヲナシテ居ル

勝に療治は防豫

よせ心用にスフチ

兵 庫 縣

事實を知るは豫防の根本なり

月別傳染病發生比較表

區分	本年				昨年			
	赤痢	チフス	チバチフス	計	赤痢	チフス	チバチフス	計
一月	九	二	七	一八	三	五	二	一〇
二月	五	四	八	一七	六	三	六	一五
三月	四	五	五	一四	四	三	五	一二
四月	元	〇	五	五	〇	三	七	一〇
五月	四	一	四	九	五	二	六	一三
六月	五	〇	三	八	二	三	五	一〇
七月	五	〇	元	五	三	三	三	九
計	三六	一三	四〇	八九	二九	二六	三三	八八

縣下ノ流行病ハ昭和元年ニハ些カ減少ノ模様ヲ示シタガ又々昨年ヨリ著シク増加シテ居ル本年ハマダ半期モタ、ナイノニ、七一三人トイフ數ヲ示シテ居ル

傳染病發生比較表(最近五ヶ年間)

年次	赤痢	チフス	チバチフス	計
大正十二年	四九	二二	三三	一〇四
大正十三年	三三	二五	二五	八三
大正十四年	三三	二四	二五	八二
大正十五年	四九	二六	二六	一〇一
昭和元年	一六	一六	一六	四八

此表ヲ見ルヤウニチフス其他ノ傳染病ハ最近著シク増加ヲ示シテ居ル、殊ニ恐ロシイノハ終熄ノ狀ナク益々蔓延ノ兆ヲ示シテ居ルコトデアアル  
故ニ縣衛生課チハ平常健康體チシカモチチフス菌ヲ持つテ居ル保菌者ノ檢索ノ最中デアアルガ、既ニチフス保菌者十一名、赤痢保菌者一名ヲ發見シタコノ健康ナル保菌者カラ病毒ノ傳播スルコトガ多イノデアアル

チフスチバチフスハ左ノ注意ニヨリ 用心は臆病にせよ  
ヲ完全ニ豫防スルコトガデキマス

- 一、必ず豫防注射ヲ受ケテナサイ。
- 二、蠅ヲワカサスヨウニシテ、糞ヲ溜メナイヨウニ早ク取片ケ付不潔ナモノハ燒捨アル。
- 三、便所ヤ糞溜ニハ石油乳劑、グレン、ゲン等ノ殺蟲消毒劑ヲ入レテ蠅ヲ驅除スルコト。
- 四、飲食物ハヨク煮燒シ猶蠅ノ付カヌヤウニ蓋ヲナシ、蠅ヲカケルコトヲ忘レテハナラヌ。
- 五、流レ水ハ使用シナイ方ガヨイ、殊ニ食物ヤ飲食物具ハ絶對ニ洗ツテハナラヌ。
- 六、傳染病流行中ハ井戸水ハクロール石灰消毒シ、野菜ヲ買ツタ時モ暫時クロール石灰水ニ浸シタ後清水ヲ洗ヒナサイ。
- 七、住居ハ常に清潔ニシ、寢具ハ度々日光消毒スルガヨロシイ。
- 八、飲食物ヲ取扱フ前ヤ食事ノ前ニハ必ず手ヲ洗ヒナサイ。
- 九、外デ食事スル時ハ餘程注意セネバナラヌ、又料理屋、飲食店ナドハオ客サンニ迷惑ヲカケヌヤウ親切ニ應命ニ注意セネバナラヌ。
- 十、病家デハ見舞客ニ對シテ茶菓ヲ出カヌコト、出サレテモ食ベヌガヨロシイ。

本年の腸「チフス」は質が悪く腦症、出血、肺炎、心臟麻痺などを起すのが多い

傳染病日報

累計	"	何郡	何市	市郡別病類別						
				赤痢	腸チフス	パラチフス	猩紅熱	チフス疹	腸脊髄行膜炎性	

斯クテ八月卅日京都府ヨリ禮衛第二一四號ノ一ヲ以テ豫テ御大禮關係府縣衛生課長會議ニ於テ定メラレタル如ク傳染病患者發生狀況通報様式ヲ左ノ如ク制定シ九月一日ヨリ各日午前零時ヲ限界トシテ日報送附セラレタキ旨依頼シ來レリ(別項禮衛寫參照)  
ソノ通報様式左ノ如シ。

重ネテ同日禮衛第二一四號ノ二ヲ以テ前條ノ件ニ付、事務整理ノ都合上「大禮」ノ二字ヲ右上端ニ附記スル事及累計ハ九月一日ヲ以テ起算ノ限界トスヘキコトヲ依頼シ來レリ(別項禮衛寫參照)  
昭和三年九月二十日、皇宮警察部長ヨリ知事宛ニ宮内傳染病豫防令及同施行規則三十部送附シ來リ御大禮關係ノ向ヘ配布スヘキ旨ヲ附記シ來レリ之ヲ以テ衛生課内各關係主任及京都出張ノ幹部ニ配布シ、以テ各傳染病ニ對スル警戒ニ遺漏ナカラシメタリ。  
宮内傳染病豫防令及同施行規則ハ略之

斯クシテ御大禮期日モ數句ニ逼リクル十月八日衛發第三一七號ヲ以テ内務省衛生局長ヨリ、龔ニ内務省發衛第二九號ニテ四月十二日通牒サレタル傳染病週報ヲ十月十五日ヨリ日報トシテ報告シ且、京都府廳内、内務省衛生局出張所ヘモ一部送附アリタキ旨ヲ報通シ來タリ、越エテ十月十日衛生局防疫課長ヨリ、來ル十三日ヲ以テ週報打切りトナシ十五日ヨリ日報トセラレベキニ付、十四日ノ分ハ日報トシテ各關係ノ向ヘ通報アリタキ旨依頼シ來タレリ。之ヲ以テ本縣ニ於テハ十月十二日、衛通第四九號ヲ以テ各警察署長ニ對シ傳染病發生狀況報告ニ關シ十月十四日ヨリ日報、報告トナスベキヤウ通報ヲ發シタリ(別項通報寫參照)

此ノ日報ハ御大典終了後ナル十二月十日マデ繼續シ、十二月十日、衛發第五〇號ヲ以テ打切ラレタリ  
尙「腸チブス」及各種傳染病ノ本縣ニ於ケル發生狀況及「腸チブス」豫防注射成績左ノ如シ  
尙參考トシテ昭和三年度ニ於ケル「腸チブス」豫防注射成績「郡市」別表ヲ添ヘタリ。

御大禮關係傳染病患者發生表 昭和三年 自十一月三十日 兵庫縣

郡市別	コレラ	赤痢	腸チブス	チバチ	フスラ	瘧疾	チフス	猩紅熱	テヂ	アフ	流行性腸脊髄膜炎	流行性腮腺炎	流行性下痢	流行性	流行性	流行性
神戶市	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
姫路市	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
尼崎市	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
明石市	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
西市	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
武庫市	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
川邊郡	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
有馬郡	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
明石郡	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患
美濃郡	保患	保患	保患	保患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患	患

加東郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
多可郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
加西郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
加古郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
印南郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
印磨郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
神崎郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
揖保郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
赤穂郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
佐用郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
尖栗郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
城崎郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
出石郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
養父郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
朝來郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
美方郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
氷上郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
多紀郡	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

郡市別	津原郡	三原郡	合計
コレラ	同	同	同
赤痢	同	同	同
腸チフス	同	同	同
チバチフス	同	同	同
痘	同	同	同
痘疹	同	同	同
チバチフス	同	同	同
猩紅熱	同	同	同
チバチフス	同	同	同
脊髄膜炎	同	同	同
流行性脳脊髄膜炎	同	同	同
流行性胃腸炎	同	同	同
流行性耳下腺炎	同	同	同
流行性脳膜炎	同	同	同
流行性	同	同	同

傳染病月報 昭和三年 自十一月一日 兵庫縣

月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	合計
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腸チフス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	63
チバチフス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	63
痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チバチフス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	63
猩紅熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性脳脊髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性脳膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

備考 赤字ハ患死者左ノ數字疫病ヲ示ス

腸チフス豫防注射施行表 自昭和三年四月一日 至昭和三年十一月末日

郡市別	注射施行豫定人員	注射液交付數量	施行市町村數	郡市別	注射施行豫定人員	注射液交付數量	施行市町村數
神戸市	5,700	6,000	1	神戸市	5,700	6,000	1
姫路市	5,000	5,000	1	姫路市	5,000	5,000	1
尼崎市	5,000	5,000	1	尼崎市	5,000	5,000	1
明石市	5,000	5,000	1	明石市	5,000	5,000	1
西宮市	5,000	5,000	1	西宮市	5,000	5,000	1
武庫川市	5,000	5,000	1	武庫川市	5,000	5,000	1
川邊郡	5,000	5,000	1	川邊郡	5,000	5,000	1
右馬郡	5,000	5,000	1	右馬郡	5,000	5,000	1
明石郡	5,000	5,000	1	明石郡	5,000	5,000	1
美作郡	5,000	5,000	1	美作郡	5,000	5,000	1
加東郡	5,000	5,000	1	加東郡	5,000	5,000	1
多加郡	5,000	5,000	1	多加郡	5,000	5,000	1
加西郡	5,000	5,000	1	加西郡	5,000	5,000	1
加古郡	5,000	5,000	1	加古郡	5,000	5,000	1
加南郡	5,000	5,000	1	加南郡	5,000	5,000	1
印旛郡	5,000	5,000	1	印旛郡	5,000	5,000	1
飾磨郡	5,000	5,000	1	飾磨郡	5,000	5,000	1
合計	50,000	50,000	12	合計	50,000	50,000	12

「腸チフス」患死者表 (既往五ヶ年間)

年別	現住人口	患者	死者	發人口一萬ニ對スル	死患者百ニ對スル
大正十三年	25,687	2,456	53	9.56	2.06
同十四年	25,450	2,456	53	9.65	2.08
大正十五年	25,867	1,876	48	7.25	1.85
昭和二年	25,350	1,876	48	7.39	1.89
同三年	25,350	1,876	48	7.39	1.89

腸「チフス」豫防注射成績「郡市」別表

昭和三年 自一月一日 至十二月卅一日

郡市種別	施行市町村數	施行部落數	施行部落現住人口	注射完了人員	注射未了人員	注射後發病者		注射後發病ニ至ル日數
						完了者	未了者	
神戶市	1	3	33,400	3,331	177	0	0	0
姫路市	1	100	54,711	7,936	5,265	4	0	5日以内四
明石市	1	10	8,366	3,376	3,477	6	0	5日以内一
武庫郡	5	25	6,911	3,974	5,536	1	0	二十日以内一、十五日以内二、三十日以内一
川邊郡	4	47	8,000	5,888	543	0	0	5日以内五、十日以内三
有馬郡	5	4	11,115	4,120	3,611	0	0	5日以内二
明石郡	3	4	3,671	2,631	1,611	0	0	二十日以内一
美濃郡	2	2	2,211	3,631	1,611	0	0	三十日以内三、五十日以内二
加東郡	3	6	2,211	1,211	311	0	0	十日以内一
加西郡	4	4	1,977	531	661	0	0	五日以内二、十日以内二
加古郡	2	4	2,101	301	111	0	0	0
印南郡	3	3	2,261	611	111	0	0	0
飾磨郡	3	9	8,371	2,311	4,411	0	0	0
神崎郡	4	15	9,454	4,411	5,161	0	0	0

郡市種別	施行市町村數	施行部落數	施行部落現住人口	注射完了人員	注射未了人員	注射後發病者		注射後發病ニ至ル日數
						完了者	未了者	
掛保郡	5	15	21,511	3,977	1,311	2	0	5日以内四、十日以内四、二十日以内一、五十日以内一
赤穂郡	7	11	18,011	6,511	7,011	1	0	5日以内一
佐用郡	1	1	2,100	1,100	1,011	0	0	5日以内一、二十日以内一
穴栗郡	1	1	3,111	1,111	1,111	0	0	5日以内一
城崎郡	5	1	21,117	6,517	7,717	0	0	十日以内三
出石郡	1	1	2,111	1,111	1,111	0	0	十日以内一、三十日以内一
養父郡	4	2	8,111	4,111	1,111	0	0	二十日以内一、四十日以内一
朝來郡	4	2	2,676	1,100	1,100	0	0	二十日以内一、四十日以内一
美上方郡	4	2	10,111	5,711	1,001	0	0	二十日以内一、八十日以内一
水上郡	7	1	4,011	3,111	9,011	0	0	五日以内一
多紀郡	7	3	5,811	4,111	511	0	0	五日以内一、二十日以内一
津名郡	3	3	2,611	8,011	4,111	0	0	五日以内一、二十日以内一
三原郡	4	1	1,110	211	111	0	0	四十日以内一
計	37	76	249,411	104,110	104,110	6	0	5日以内一四、十日以内一〇、十五日以内二、二十日以内一四、三十日以内三、四十日以内一〇、五十日以内一、六十日以内一、七十日以内一、八十日以内一、九十日以内一、百日以内一、百一十日以内一、百二十日以内一、百三十日以内一、百四十日以内一、百五十日以内一、百六十日以内一、百七十日以内一、百八十日以内一、百九十日以内一、二百日以内一、二百一十日以内一、二百二十日以内一、二百三十日以内一、二百四十日以内一、二百五十日以内一、二百六十日以内一、二百七十日以内一、二百八十日以内一、二百九十日以内一、三百日以内一、三百一十日以内一、三百二十日以内一、三百三十日以内一、三百四十日以内一、三百五十日以内一、三百六十日以内一、三百七十日以内一、三百八十日以内一、三百九十日以内一、四百日以内一、四百一十日以内一、四百二十日以内一、四百三十日以内一、四百四十日以内一、四百五十日以内一、四百六十日以内一、四百七十日以内一、四百八十日以内一、四百九十日以内一、五百日以内一、五百一十日以内一、五百二十日以内一、五百三十日以内一、五百四十日以内一、五百五十日以内一、五百六十日以内一、五百七十日以内一、五百八十日以内一、五百九十日以内一、六百日以内一、六百一十日以内一、六百二十日以内一、六百三十日以内一、六百四十日以内一、六百五十日以内一、六百六十日以内一、六百七十日以内一、六百八十日以内一、六百九十日以内一、七百日以内一、七百一十日以内一、七百二十日以内一、七百三十日以内一、七百四十日以内一、七百五十日以内一、七百六十日以内一、七百七十日以内一、七百八十日以内一、七百九十日以内一、八百日以内一、八百一十日以内一、八百二十日以内一、八百三十日以内一、八百四十日以内一、八百五十日以内一、八百六十日以内一、八百七十日以内一、八百八十日以内一、八百九十日以内一、九百日以内一、九百一十日以内一、九百二十日以内一、九百三十日以内一、九百四十日以内一、九百五十日以内一、九百六十日以内一、九百七十日以内一、九百八十日以内一、九百九十日以内一、千日以内一



### 第三篇 慢性傳染病豫防

#### 第一項 癩 豫 防

##### 一、癩豫防ニ關スル概況

昭和三年三月廿八日內務省發衛第二十八號ニ以テ御大禮衛生施設事項ニ關スル件依命通牒アリ、其ノ條項中癩豫防ニ關シテ

(一) 浮浪徘徊ノ癩患者ニ對スル取締リヲ嚴重ニシ關係府縣ト協力シ遺憾ナキヲ期スルコト

(二) 癩患者ノ一時救護設備及擴張ヲ圖ルコト

(三) 私宅療養患者ヲシテ多衆ノ集合スル場所、又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ出入セシメザルコト

等ノ條項ヲ示サレタリ。本縣ニ於テハ癩患者ヲ外島保健院ニ送致スルコトニ定メタレドモ外島保健院ニ於ケル患者收容定員ハ四百名ニシテ殆ド常時滿員ノ實狀ニ在ルヲ以テ浮浪徘徊ノ癩患者ヲ悉ク同院ニ送致スルヲ得ズ、從ツテ神戸市内及阪神沿道、又ハ明石等ノ市部ニ於テハ浮浪徘徊ノ癩患者迹ヲ絶タザル状態ニアリ

本縣ハ神戸港ヲ控タルヲ以テ、常ニ外人ノ來往頻繁ニテ此レ等癩患者ノ出沒徘徊スルハ實ニ國家ノ體面上遺憾ニ堪ヘザルノミナラズ、本病豫防上寒心スベキコトナリ、殊ニ近來神戸市内元町通、海岸通附近、比較的外人ノ眼ニ附キ易キ、區域ニ癩患者ノ徘徊スル事實アルヲ以テ、五月五日衛發第十二號ヲ以テ、三宮相生橋兩警察署長宛ニテ將來斯ル地區ニ絕對ニ出沒セシメザル様嚴重ニ取締ルベキヲ通牒シ、尙參考ノタメ、本年ニ於テ外島保健院ヘ收容方照會中ノ患者、三宮ニ一名、相生橋ニ七名、湊川ニ二名、アルコトヲ附記セリ(別項衛發寫參照)

然ル所外島保健院ノ癩患者收容設備ハ、今秋御大禮御舉行アラセラルル爲メ擴張セラレテ其ノ定員ハ五五〇名ニ増加セラル、コト、ナリタリ

本縣ニ於テモ御大禮ニ關係衛生會議ニ於テ豫算ヲ増加シ癩豫防ニ關シ必要ナル人員ヲ増シ(豫算増加ニ關シテハ第五篇第一項ニ詳述ス)御大禮御舉行以前ニ於テ浮浪徘徊ノ癩患者ヲ縣下ヨリ一掃スルト同時ニ御大典中自宅治療患者ノ外出ヲモ嚴重ニ取締ルベキ計畫ヲ樹テ九月二十五日衛發第四六三號ヲ以テ各警察署長宛ニ浮浪徘徊ノ癩患者調査ニ關スル件ヲ照會シタリ

即チ

(一) 一定ノ居所ヲ有セズ諸所ヲ浮浪徘徊スルモノ

(二) 掘立小屋、蒲鉾小屋、バラツク、天幕張、穴居等ノ如キ居所ヲ有スルモ常ニ附近ヲ彷徨徘徊スル者

(三) 普通ノ住居ヲ有スルモ常ニ附近ヲ彷徨徘徊スル者

右ノ三種ニ分チテ調査報告セシメタリ

#### 癩 患 者 調 査 表

昭和三年九月

地 區	要 項	一定ノ居所ヲ有セズ諸所ヲ浮浪徘徊スルモノ	掘立小屋、蒲鉾小屋、バラツク等ノ居所ヲ有シ附近ヲ彷徨徘徊スルモノ	普通ノ居所ヲ有スルモ常ニ附近ヲ彷徨徘徊スルモノ	合 計
福 市	川 磨 田	三	一	一	五
須 林	田 崎	一	一	一	三
尼 明	石 影	一	一	一	三
御 寶	塚 田	一	一	一	三
三 寶	條 田	一	一	一	三
北 魚	橋 崎	一	一	一	三
福 龍	野 崎	一	一	一	三
安 龍	野 崎	一	一	一	三
日 柏	高 積	一	一	一	三
岩 原	原 高	一	一	一	三
市 村	屋 原	一	一	一	三
計		二	二	三	七

##### 二、浮浪徘徊癩患者保養院送致

昭和三年十月十六日衛發第四六九號ヲ以テ再ビ各警察署長ニ對シ、浮浪徘徊ノ癩患者ヲ徹底的ニ掃蕩スル爲メ掘立小屋、蒲鉾小屋、バラツク、天幕張、穴居等ニ潛ム者ヲ探索シ癩患者ヲ發見シタル場合ハ直ニ醫師ノ診定ヲ受ケシメ癩患者ト診定セラレタル者ニ對シテハ之ヲ逃走セシメザルヤウ署内

適當ナル場所ニ救護シ置キ即時本部へ電話ヲ以テ、其ノ本籍、氏名、年齢ヲ報告スルト同時ニ最寄鐵道驛長ニ患者ノ至急輸送方ヲ依頼シテ出發日時確  
定シタル時ハ當廳ニ同様電話ヲ以テ神崎驛着ノ日時患者歩行ノ能否ヲ報告シ取敢エズ身柄ヲ外島保養院ニ送致シタル後、癩豫防ニ關スル法令施行手續  
第一條ノ事項ニ從ヒ書面ヲ以テ本部へ報告セシム即チ施行手續第一條左ノ如シ

豫防ニ關スル法令施行手續第一條抜萃

- 一、患者ノ本籍、住所、氏名、職業、年齢
- 二、診定ノ年月日
- 三、扶養義務者又ハ其ノ他ノ救護者ノ住所氏名及患者トノ続柄
- 四、其他必要ナル事項

自宅治療ノ癩患者ニ對シテハ十一月末日迄絶對ニ旅行並ニ外出ヲ遠慮セシムル様嚴重取締ルベク通牒ヲ發シタリ。而シテ調査ノ結果、浮浪徘徊癩  
患者十七名、無資力癩患者十二名ヲ發見シ之ヲ外島保養院へ送致シタリ。  
其ノ人員左ノ如シ。

浮浪徘徊癩患者保養院送致者表

送致署名	月	日	本籍	男女別	送致署名	月	日	本籍	男女別	送致署名	月	日	本籍	男女別
西宮	九月	三日	東京市	男一	相生橋	十月	二十日	石川縣	男一	林田	十一月	二日	愛媛縣	男一
同	同	同	岐阜縣	男一	同	同	同	不詳	男一	同	同	同	佐賀縣	男一
同	九月	廿八日	京都府	男一	同	同	同	同	男一	荻合	十一月	五日	神戶市	男一
相生橋	十月	廿日	兵庫縣	男一	同	同	同	同	女一	魚橋	十一月	七日	愛知縣	男一
同	同	同	同	女一	同	十一月	二日	東京府	男一	相生橋	十一月	二十一日	福岡縣	女一
同	同	同	同	女一	同	同	同	不詳	男一	同	同	同	同	同
計	十七名													

無資力癩患者保養院送致者表

送致署名	月	日	現住所	男女別	送致署名	月	日	現住所	男女別	送致署名	月	日	現住所	男女別
三木	九月	二日	兵庫縣	男一	明石	九月	廿八日	兵庫縣	男一	安積	十月	二十二日	兵庫縣	男一
洲本	同	同	同	女一	同	同	同	同	男一	城崎	同	二十六日	同	女一
同	同	同	同	男一	同	同	同	同	女一	和田山	同	同	同	男一
同	同	同	同	女一	同	同	同	同	男一	同	同	同	同	男一
同	同	同	同	男一	同	同	同	同	女一	同	同	同	同	男一
計	十二名													

而シテ御大典モ數日ニ通りタル今日一層取締ノ必要アリ、殊ニ神戸市内及阪神沿道等ニ於テ出沒ノ虞アルヲ以テ十一月八日、衛發秘第一七一號ヲ以  
テ阪、神、明治道ノ各警察署長ニ對シ、癩患者取締ニ關スル件通牒ヲ發シ、御大典期間ニ入りタル今日、萬一街上ヲ浮浪徘徊スル癩患者ノ出沒スルニ  
於テハ獨リ國家ノ體面ヲ汚スノミナラズ延イテ御大典ニ際シテ警察取締ノ威信ニ影響スルヲ以テ充分細心ニ注意スベキ旨ヲ通報ニ及ビタリ  
次デ十一月十九日衛發秘第一七三號ヲ以テ市内林田警察署宛ニ浮浪徘徊ノ癩患者取締ノ件通牒ヲ發シ、元來癩患者ノ巢窟トモ見做スベキ林田管内ノ  
兎谷及日吉町二丁目ニ於テハ何時彼等ノ出沒ヲ見ルヤモ知レザレバ、今後本月末日迄ハ毎日、日出前、又ハ日没後適當ナル時間ニ於テ一回以上受持巡  
査ヲシテ該部落視察内偵セシメ、若シ之ヲ發見シタル時ハ客月十六日附衛發第四六九號ノ依命通牒ニ依リテ處理スベキヤウ通報シタリ  
此ノ如ク嚴重ナル取締リヲ加ヘタルヲ以テ幸ニ御大典期間中縣下ニ癩患者ノ徘徊徘徊スルモノ杜絶セル好成绩ヲ收メタリ

第二項 結核、トラホーム、花柳病豫防

一、結核、トラホーム、豫防概況

本縣ニ於テハ一般業者ニ對スル結核健康診断及「トラホーム」檢診ニ關シテ第一表ノ如ク本年二月三月ノ間ニ於テ之ヲ施行シ、縣下郡部ニテ九〇  
九五ノ檢診ヲナセシガ、本年秋冬ノ候ニ於テ御大典御舉行アラセラル、ニ就テ昭和三年三月二十八日內務省發衛第二八號ヲ以テ御大典衛生施設事項  
ニ關スル件依命通牒アリテ其ノ條項中結核、「トラホーム」ニ關シテ示サレタルモノハ左ノ如シ。

- (一) 結核豫防法令、トラホーム豫防法令ノ規定スル所ニ從ヒ健康診断ヲ施行スルコト、殊ニ旅店、貸座敷、料理店、興行場等ニ於ケル従業者、  
錢袋按摩業者、藝妓、雇仲居、娼妓、酌婦、女給、飲食物ノ製造、又ハ販賣ニ直接從事スルモノ、貸座敷、古着等ノ販賣授受ニ直接從事スル

者ニシテハ嚴重ニ之ヲ施行スルコト

(二) 興業場、貸座敷、貸席、待合茶屋、旅店、料理店、飲食店等ニ於テハ適當箇數ノ唾壺ノ配置ニ注意スルコト

(三) 多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所、殊ニ神社佛閣ニ於ケル手拭、洗面、手洗装置等ノ清潔保持ヲ嚴重ニ取締ルコト  
 此ノ依命通牒ニヨリテ本縣ニ於テハ業態者ノ範圍ヲ擴張シテ所謂特種業態者中菓子及牛乳ノ搾取、又ハ販賣ニ直接從事スル者(鮎、煮メノ製造販賣ニ從事スル者ハ飲食店從事者トシテ從來ヨリ施行シ居リ又肉ハ大體ニ於テ生食セザルヲ以テ之ヲ除外セリ)及貸蒲團、貸木、古着ノ賣買、授受ノ業務ニ直接從事スル者ニ對シテモ之ヲ施行スルコト、シ、先ヅ第一ニ御大禮御舉行前ニ神戸市及阪神沿道ノ該當業態者ニ對シテ之ヲ施行シ、續イテ縣下未濟地方ニ及ボスベキ計畫ヲ樹テ五月二十三日ヨリ毎日醫師三名ヲ派遣シテ之ニ從事セシメ七月廿五日神戸市内ヲ終了シ引續キ直チニ阪神沿道地方ニ着手スベキ所急々ヲ要スベキ防疫事務多端ヲ極メシ折柄トテ延期シ十月十八日ヨリ再之ヲ開始シ同二十九日迄ニ御影、芦屋、西宮ノ各警察署管内ノ該當業態者ニ對シテ之ヲ施行セリ、其ノ成績ハ第二表ノ如シ。

而シテ此ノ檢診ニヨリテ發見シタル結核並ニトラホーム患者ニ對シテハ夫々諭旨休業又ハ廢業ヲ命ズルノミナラズ、治療ニ就テ便宜ヲ與ヘ督勵ヲナス等適宜ノ措置ヲ講ジタリ。

(第一表) 昭和三年 自二月施行 至三月施行 結核 檢診業態別成績表

業態別	要項	結核		核		ト		ホ		計	患者百分比
		脚結核	喉頭結核	計	患者百分比	重症	輕症	疑似症	計		
襦袢	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
仲居	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
宿屋	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
料理店	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
飲食店	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
藝妓	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
貸座敷	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
貸席	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
理髮店	居、酌	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	0.01
計		11	11	22	0.01	11	11	22	22	22	0.01

牛乳搾取販賣  
 鍼灸、按摩、マッサージ  
 菓子製造販賣  
 遊藝行場  
 計

牛乳搾取販賣	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	2	0.01
鍼灸、按摩、マッサージ	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	2	0.01
菓子製造販賣	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	2	0.01
遊藝行場	1	1	2	0.01	1	1	2	2	2	2	0.01
計	4	4	8	0.01	4	4	8	8	8	8	0.01

(第二表) 昭和三年 自五月施行 至十月施行 結核 檢診業態別成績表

業態別	種別	受診者	結核		核		ト		ホ		計	患者百分比
			脚結核	喉頭結核	計	患者百分比	重症	輕症	疑似症	計		
襦袢	居、酌	17010	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
仲居	居、酌	17110	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
宿屋	居、酌	17210	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
料理店	居、酌	17310	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
飲食店	居、酌	17410	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
藝妓	居、酌	17510	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
貸座敷	居、酌	17610	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
貸席	居、酌	17710	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
理髮店	居、酌	17810	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
牛乳搾取販賣	居、酌	17910	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
鍼灸、按摩、マッサージ	居、酌	18010	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
菓子製造販賣	居、酌	18110	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
遊藝行場	居、酌	18210	1	1	2	0.01	1	1	2	2	0.01	
計		18310	11	11	22	0.01	11	11	22	22	0.01	

備考 施行警察署名 葦合、三宮、神戸、水上、湊川、相生橋、兵庫、林田、須磨、御影、芦屋、西宮

二、花柳病豫防ニ關スル概況

昭和三年三月廿八日内務省衛發第二八號ヲ以テ御大禮衛生施設事項ニ關スル件依命通牒アリテソノ條項中花柳病豫防ニ關シテ示サレタルモノノ左ノ如シ

- (一) 娼妓ニ對シテハ健康診斷ヲ一層嚴重ニスルト共ニ豫防方法ヲ勵行セシムルコト
- (二) 營業者ヲシテ客用豫防用具、豫防藥品ヲ備付ケ洗濯設備ノ完備ヲ期セシメ客ヲシテ成ベク豫防手段ヲ講ゼシムル様ニナスコト
- (三) 花柳病傳播ノ虞アル接客業婦ニ對シテハ花柳病診療施設ノ充實及ビ豫防知識ノ啓發ニ努メ特ニ保健組合等ヲシテ活動セシムルコト

以上ノ指示事項ニヨリ本縣ニ於テハ花柳病豫防ノ爲豫防思想並ニ傳染防止方法實行ノ普及徹底ニ關シ、神戸市ハ勿論縣下各警察署ヲシテ夫々適當ノ方法ヲ講ゼシメツ、アル外、特ニ神戸市ニ於テハ私立神戸市衛生會ヲ懲進シテ浪花節講演者ヲ招聘セシメ本縣技師ト共ニ神戸市内十六ヶ所ニ於テ娼妓及業態者ニ對シ本病豫防ニ關スル講演會ヲ行ハシメ頗ル好成績ヲ收メタリ。

結核、トラホーム、及花柳病豫防宣傳成績ニ關スル統計左ノ如シ

結核豫防講演會開催成績

郡市別	月日	場	所	入場人員
神戸市	四月廿七日、廿八日	雲中、吾妻小學校	三宮警察署、青年會館、松本座	八、〇四三
尼崎市	四月廿七日、廿八日	福原公立檢事務所、古湊市場、岡方俱樂部、兵庫警察署	板宿護國院、眞陽小學校、大橋公會堂	六〇〇
明石市	四月廿七日	尼崎警察署	市公會堂、劇場、工場、學校	四、二〇〇
武庫郡	四月廿七日	講道、本山、小學校、各工場		一、八一〇
川邊郡	四月廿七日	西谷、東谷、中谷、各小學校		一、二〇〇
有馬郡	四月廿六日	小野、三輪小學校		一、一五〇
美濃郡	四月廿七日	有馬町公會堂		三、五〇〇
加西郡	四月廿七日	美濃郡各小學校		二、三〇〇
加古郡	四月廿七日	各小學校、各工場		一、三〇〇
加古郡	四月廿七日	加古川町旭俱樂部、大成座	日毛工場、高砂公會堂、小學校	四、六七〇

郡市別	月日	場	所	入場人員
印南郡	四月廿六日、廿七日	阿彌陀村生石神社社務所、公會堂		三九〇
神戶郡	四月廿六日、廿七日、廿八日	各小學校		五、五〇〇
掛保郡	四月廿七日、廿八日	各小學校		六、〇〇〇
赤穂郡	四月廿七日、廿八日	中富座、金箔貝卸工場		二〇、一六六
佐粟郡	四月廿七日	淺井、丸天醬油會社、各小學校		三、一〇〇
共栗郡	四月廿六日、廿七日、廿八日	各工場、小學校、劇場		五〇〇
出石郡	四月廿六日、廿七日	三日月說教所、千福青年會館、上月俱樂部		二五三
養父郡	四月廿六日、廿七日	上野青年俱樂部、三方町俱樂部		二、二〇〇
朝來縣	四月廿七日	豐岡警察署、鐵道集會所		三、五〇〇
美上方郡	四月廿七日	城崎警察署		三、六九〇
氷上郡	四月廿七日	永樂館、小學校		二、三〇〇
多紀郡	四月廿七日	那志製糸工場、廣谷劇場		三、六九〇
津名郡	四月廿七日	那志製糸工場、和田山小口組製糸工場、口銀谷小學校		九、三〇〇
三原郡	四月廿七日	射添、其他各小學校		九、七〇〇
合計		各小學校		六、五〇〇
		篠山小學校、游廊事務所		二、三、九六〇
		洲本各小學校、岩屋俱樂部		六、一〇〇
		志筑各小學校		一三〇、九五二
		那家各小學校		
		各小學校		

結核豫防宣傳浪花節講演會開催成績

署名	月日	場	所	入場人員
湊川署	四月二十六日、廿七日、廿八日	福原町共立檢護妓共同事務所、古湊市場、福原食座敷事務所		三、〇〇〇
三宮署	四月二十六日	三宮警察署		三五〇
須磨署	四月二十八日	板宿護國院		三〇〇
生合署	全上	吾妻小學校		七〇〇
相計	四月廿六日、二十八日	青年會館、西門筋松本座		五、三〇〇

花柳病豫防講演會開催成績

郡市別	月日	場	所	入場人員
神戶市	九月廿一日、廿一日、廿二日、廿三日、廿四日、廿五日、廿六日、廿七日、廿八日、廿九日、三十日	日暮通山新館、宮木小學校、青年會館、松本座、福原座、西須磨會館、西須磨會館事務所		5,000
姫路市	九月十七日、十八日、十九日	武徳殿、藝妓共同事務所		200
尼崎市	九月十二日、十三日	圖書館		1,010
明石市	十月八日	三日亭		200
武庫川郡	十二月七日	精道村公會堂		200
有馬郡	十月四日	中央公會堂		200
美濃郡	九月七日	警察署		200
多可郡	九月二十一日、二十二日、二十三日、二十五日、二十七日、二十八日	比延庄村、外八ヶ村ニ於テ		300
神崎郡	十月四日	福崎町公會堂		500
揖保郡	九月八日、九日、十月十一日、十二日、十三日	龍野警察署、神部村、林田村、新宮村、班鳩村、網干警察署、網干駅前、津津村		200
赤穂郡	八月廿五日	赤穂町福榮座		300
出石郡	九月八日	上郡警察署		300
朝來郡	九月八日、九月十六日、九月十八日	香住警察署		300
多紀郡	八月廿八日、九月十一日、十八日	出石警察署		300
三原郡	九月二十一日、廿四日、二十五日、二十七日、二十九日	和山警察署、生野警察署、山口村公會堂		100
計	九月廿一日	篠山警察署、日置村役場、福住小學校、北河内集會所、古市小學校、北河内伊賀野公會堂		9,510

映畫會成績

主催者	名称	フィルムノ種目	期日	場	所	観覧者數
縣衛生課、小口組製糸會社	花柳病豫防	青春の懼	三月十二日	朝來郡枚田村	小口組製糸會社	500
縣衛生課、八鹿警察署	トラホーム豫防	目の無い小鳥	三月十三日	養父郡高柳村	公會堂	500
全上	全上	全上	三月十四日	養父郡口大屋村	小學校	500
全上	トラホーム豫防	目の無い小鳥	三月十五日	養父郡廣谷町	劇場	1,000
全上	花柳病豫防	青春の懼	三月十六日	養父郡八鹿町	公會堂	500
縣衛生課、八鹿警察署、郡製絲會社	トラホーム豫防	目の無い小鳥	三月十七日	養父郡八鹿町	郡製糸會社	500
縣衛生課、西宮市聯合衛生會	全上	全上	三月十七日	西宮市 第一小學校		1,000
全上	全上	全上	三月二十三日	西宮市 第二小學校		1,000
縣衛生課、伊丹、廣根、寶塚、三田、柏原、佐治、篠山、以上七理髮組合	花柳病豫防	青春の懼	三月十一日	川邊郡伊丹町	劇場	2,000
縣衛生課、加西郡理髮組合	結核豫防	生命の創作	四月二十七日	加西郡北條町	揚武館	1,000
縣衛生課、岩屋警察署	トラホーム豫防	目の無い小鳥	四月二十七日	津名郡岩屋町	クラブ	300
縣衛生課、加古郡高砂町衛生組合	結核豫防	生命の創作	四月二十八日	加古郡高砂町	公會堂	2,000
縣衛生課、神崎郡產婆會	結核豫防	目の無い小鳥	四月二十九日	神崎郡船津村	小學校	2,000
縣衛生課、明石郡玉津村	トラホーム豫防	目の無い小鳥	五月二日	明石郡玉津村第一、第二小學校		2,000
縣衛生課、加西郡理髮組合	花柳病豫防	青春の懼	五月五日	加西郡西在田村	小學校	1,200
縣衛生課、伊丹、廣根、寶塚、三田、柏原、佐治、篠山、以上七理髮組合	トラホーム豫防	目の無い小鳥	五月十日	武庫郡長元村	寶塚クラブ	400
縣衛生課、神戸市福原町青年會	花柳病豫防	青春の懼	五月二十三日	神戸市福原町	食座敷事務所	500
縣衛生課、中央郡理髮組合	全上	全上	六月二日	中央郡山崎町	劇場	2,000
縣衛生課、加古郡高砂町衛生組合	全上	全上	六月七日、八日、九日	加古郡高砂町	公會堂	2,000
				鏡淵紡績會社		2,000

主 催 者	名 稱	フイルムノ種目	期 日	場 所	観 覧 者 數
縣衛生課、赤穂郡相生町播磨造船所	全 上	青春の懺	六月廿四日	赤穂郡相生町 播磨造船所構内	二,500
縣衛生課	トラホーム豫防	目のない小鳥	七月十一日	加古郡加古川町日本毛織會社構内	二,000
加古郡加古川町日本毛織會社	花柳病豫防	青春の懺	七月十六日	神戸市葦合 神戸製鋼所構内	二,000
縣衛生課、神戸製鋼所	全 上	全 上	七月二十一日	神戸市 香妻小學校	一,500
縣衛生課、葦合區民會	全 上	全 上	七月二十二日	神戸市二宮町 縣立第一中學校	二,000
全 上	トラホーム豫防	目のない小鳥	自七月廿一日五日間 至七月廿五日	明石市 王西座	三,500
縣衛生課、明石市役所	トラホーム豫防	目のない小鳥	八月二日	朝來郡竹田町 竹田町劇場	800
明石市聯合衛生組合	全 上	全 上	八月三日	朝來郡東河村 小學校	一,000
縣衛生課、朝來郡教育衛生會	全 上	全 上	八月四日	朝來郡栗鹿村 小學校	一,000
全 上	全 上	全 上	八月五日	朝來郡與布土村 小學校	一,000
全 上	花柳病豫防	青春の懺	八月十六日	神戸市御崎町 鐘淵紡績株式會社内	三,000
縣衛生課、鐘淵紡績株式會社	花柳病豫防	青春の懺	八月十八日	尼崎市第二小學校校庭	一,000
縣衛生課、尼崎市聯合衛生組合	トラホーム豫防	目のない小鳥	八月二十五日	有馬郡三田町 小學校	一,000
縣衛生課、三田警察署	全 上	全 上	九月一日	有馬郡三輪町 小學校	800
全 上	全 上	全 上	九月二日	有馬郡有馬町 役場前廣場	一,000
全 上	全 上	全 上	九月三日	川邊郡東谷村 小學校	800
縣衛生課	花柳病豫防	青春の懺	九月八日	川邊郡長尾村 慈眼寺	800
全 上	全 上	全 上	九月九日	川邊郡長尾村 中山寺	800
全 上	全 上	全 上	九月十日	赤穂郡赤穂町 劇場	800
縣衛生課、赤穂警察署	全 上	全 上	九月十八日	赤穂郡尾崎村 小學校	一,500
全 上	全 上	全 上	九月十九日		一,500

縣衛生課、伊丹、廣橋、宮家、三田  
柏原、佐治、篠山以上七理髮組合

縣衛生課、三木警察署

縣衛生課、四宮市醫師會

縣衛生課、日本毛斯倫株式會社

種 類	發行者	名 稱	頭 布 數	發 行 日	頭 布 箇 所	観 覧 者 數
ホスタール	縣衛生課	トラホーム豫防	三卷	九月二十五日	水上郡柏原町 公會堂	一,000
同上	同上	痘瘡豫防	三卷	九月二十六日	美濃郡三木町 劇場	一,500
同上	同上	狂犬病豫防	四卷	十月二十日	西宮市 公會堂	800
同上	同上	花柳病豫防法規	四卷	十月二十日	武庫郡瓦木村	一,000
パンフレット	同上	トラホーム豫防調査成績	三卷	十月二十八日	日本毛斯倫株式會社内	一,500

ホスタール、ピラ其他印刷物

種 類	發行者	名 稱	頭 布 數	發 行 日	頭 布 箇 所	観 覧 者 數
ホスタール	縣衛生課	トラホーム豫防	三卷	二月二十日	縣下市町村、各警察署及其他ニ配布	
同上	同上	痘瘡豫防	五,000枚	四月二十八日	同上	
同上	同上	狂犬病豫防	一〇,〇〇〇枚	六月二十日	同上	
同上	同上	花柳病豫防法規	七〇〇部	七月六日	縣下各警察署並ニ市町村役場其ノ他	
同上	同上	花柳病豫防心得(一般用)	一,〇〇〇	九月廿日	同上	
同上	同上	花柳病豫防心得(藥態者用)	五,〇〇〇	八月三十一日	縣下各警察署市町村役場及藥態者組合其ノ他	
同上	同上	花柳病豫防心得(一般用)	六〇〇	九月一日	其警察管内	
同上	同上	安積署	三〇〇			
同上	同上	香住署	二〇〇			
同上	同上	三田署	五〇〇			
同上	同上	高砂署	二五冊			
同上	同上	佐川署	三〇	九月一日		
同上	同上	村岡署	三〇			

### 第一項 精神病取締

#### 一、精神病者取締概況

御大禮ニ關スル衛生施設事項トシテ精神病者ノ觀察取締ハ最モ重要視スベキモノナルヲ以テ昭和三年三月廿八日内務省發第一八號ヲ以テ御大禮衛生施設事項ニ關スル依命通牒アリテ其ノ條項中精神病者ニ關シテ左ノ如ク指示サレタリ

一、私宅ニ於ケル精神病者ノ監護ヲ充分ニシテ殊ニ公安ニ危害ヲ及ボス虞アル患者ニ對シテハ一層嚴重ナル注意ヲナスコト

二、精神病院(其他ノ收容所)ニ於テハ左記事項ニ留意セシムルコト  
 (イ) 患者ノ逃走、暴行、放火、等ニ對シ充分ナル警戒ヲ拂フト共ニ病院管理ヲ一層周到ナラシムルコト  
 (ロ) 未治患者ノ通院ニ際シテハ保護者ニ對シ其ノ監護方法ヲ特ニ指示スルコト

三、浮浪徘徊スル精神病者ニ對シテハ迅速ニ監護義務者ニ引渡ス等適當ナル處置ヲ講ズルコト

(一)精神病者ノ整理

本縣ニ於テハ内務省ノ通牒ニ先ダテ二月廿九日衛發第一〇五號ヲ以テ縣下各警察署長宛ニテ精神病取締ニ關スル件通牒ヲ發シ

1 精神病者ニシテ行衛不明者ナキヤ  
 2 監置場ノ構造ニシテ改築ヲ要スルモノナキヤ

3 未監置精神病者ノ病狀ニシテ監置ヲ必要トスル程度ノ者ナキヤ

其他一般監置、未監置、精神病者一齊ニ臨檢視察ヲ遂ゲ調査ノ遺憾ナキヲ期スルト共ニ左ノ様式ニヨリテ三月十日迄ニ本部ヘ報告スベキヤウ通知セリ其ノ形式左ノ如シ(別項通牒寫参照)

種別	住所氏名	編入年月日	視察		備考
			監置場構造適否	病狀其他	

此ノ如ク一齊ニ特別調査ヲ行ハシメタル結果左ノ如シ

### 精神病者調査表

署名	別男女	種						合計
		甲			乙			
三合	女男	私宅	病院	所在不明	計	放火	官署	
		水橋上						
相生								
相川								
兵庫								
林田								
須磨								
御影								
西宮								
伊丹								
廣根								
寶塚								
合計								

一一七





署名	種		種		種		合計
	男	女	男	女	男	女	
岩屋	1	1	1	1	1	1	4
市村	1	1	1	1	1	1	4
福真	1	1	1	1	1	1	4
合計	3	3	3	3	3	3	12

(二) 行衛不明者検索

六月二日、衛發第二四四號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ、名簿ノ整理ヲナスコト、又視察不充分ノ嫌アル點ニツキ轉、出、入ノ場合、各關係署間ノ通報ヲ敏ナラシムル事等ニツキテ警告ヲ與フルト共ニ、行衛不明者ニ對スル報告手當等ニ遺憾ナカラシムル爲注意ヲナシ、行衛不明者ニツキテハ他府縣ニ向ツテ一齊ニ通報スル必要アルヲ以テ六月十日必着ノ見込ニテ調査セシメタリ(別項通牒爲参照)

(三) 未監置精神病者集會場所(寺院「オ籠堂」)等ノ調査、精神病者ノ取締及檢索ニツキ努力シツ、在ル折柄、千葉縣ヨリ通報アリテ最近寺院其他私立ノ所講精神病療法ナド、稱シ精神病者ヲ收容セル場所ニ於ケル(「オ籠堂」ヲ含ム)實況ヲ報ジ來タレリ、之ニヨレバ狂暴ナルモノニ對シ戒具ヲ用ヒ又ハ監禁ヲ行ヒ、又患者ノ行衛不明者ニ對シテモ怠慢ニ放任セルナド、其ノ結果實ニ恐ルベキモノアルヲ以テ本縣ニ於テモ收容所ノ詳細ナル調査ヲ必要トナシ、六月十二日、衛發第二六六號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シテ精神病者收容所(寺院、教會、等「オ籠堂」ヲ含ム)調査方ニ關スル件ヲ通牒シ、所在地、管理者、收容方法、設備、費用、現在人員等ニツキ詳細ニ取調ヲ着手シタリ。(別項通牒爲参照)

而シテ調査ノ結果ハ僅カ七ヶ所ニシテ收容人員ハ廿一名ニ過ギズ、幸ニ監禁等ノ違反ナク、患者モ重症者ヲ認メズ、又風儀等ニツキテモ注意ヲ要スベキ事實ヲ認メザリシハ幸ト云フベシ。尙詳細ハ左表ニ明ラカナリ。

又病院取締規則ニ抵塞スルコトナキヤ調査セシメ治療ヲ行フニアラズ單ニ信仰ノミニ依ルコトヲ確メタリ

精神病者收容所(寺院、神社、等俗ニ「オ籠リ」ヲ含ム)調査表

昭和三年六月末現在

收容所所在地	住所	職業	氏名	年齢	資産並ニ生活狀態	收容人員		收容ノ方法	備考
						能率	現在		
多可郡松井庄村岩庄神 竹本二三七ノ一	全上	農業	木原基次 明治元年 三月九日生	六	田一丁八反歩、雜地二 流以上ノ生活ヲナス	六	一	寺院ノ籠堂六疊二間ニオ籠リ ナサシメ祈願スルモノニオ ナサシメ謝禮ハ任意トス	一名以上ヲ收容シタル コトナシ
全部西脇町西脇四八六 ノ四	全上	教導職	金井利作 當四十九年	六	資産ナシ、教導職ニヨ ル收入ニテ中流ノ生活 ヲナス	六	一	六疊二間ニ任意祈願スルモノ ニテ謝禮ハ任意トス	古ヨリ腦神經病ニ効顯 アリトテオ籠リスル
三原郡榎井村上幡多阿 波井神社境内	全上	農業	村上重平 當六十四年	二五	約六千圓位ノ資産ヲ有 シ中流ノ生活ヲナス	二五	五	二棟アリ各建物共男女ヲ區別シ 祈願ニヨリ添付セントスルモノ ニシテ患者ヲ添付セントスルモノ 只神燈料トシテ一日五錢ヲ納 ム	自己ノ祈禱ヲ以テスレ バ全治スベシト稱シ勸 誘ス
津名郡洲本町字山二一 五	全上	僧侶	的場海阿 當四十八年	二	約四五千圓ノ資産ヲ有 スルト傳ヘタル月二 三十圓乃至四五圓ノ 收入アリ	二	二	患者一人ニ一問ヲ借ス設備トナ シ自炊ヲナサシメ謝禮ヲ定メズ 謝禮ハ十日間三圓乃至五圓ニ 十日間二十圓位トナスモノノ如 シ	重症又ハ暴行癖ノアル モノハ巨絶シ居レル如 シ
水上郡幸世村香其一三 〇不動山	全上	僧侶	小林慈海 當四十六年	一六	岩龍寺住職トシテ相當 裕福ナル生活ヲナス	一六	一〇	十六室ニ分タル建物ニ一人一 室ニ收容ス不動山ノ流ニ打タレ 祈願ク、借案料トシテ一日一人 三十錢ヲ納メ尙相當ニ謝禮ヲナ ス	
神崎郡山田村西山田四 九八神理教直轄神教會	全上	教導職	鎌谷大之丞 當四十一才	一〇	不動産ニシテ四千圓位 信者ヨリ共養物ヲ持參 スルヲ以テテ生活ス	一〇	三	一人一日貳錢五十錢雜費三錢ヲ 收メシム俗ニ「オ籠リ」ト稱シ 祈願スルモノナリ	
揖保郡太田村東南二二 天理教宣教師	全上	一	田中シゲ 當五十年	一	資産無キモ中流ノ生活 ヲナス	一	一	別ニナシ	懇親者ヲ收容シ居ル モノニシテ他人ヲ收容ス ルモノニアラズト認ム

(四) 精神病者立廻先調査

本縣編入ノ非監置精神病者ニシテ行衛不明ノ者モアリ、又他府縣ニ立廻レルモアリテソノ結果ハ御大體準備上、寒心スベキモノアリ、殊ニ京都府知事ヨリ本縣長官宛ニ照會ノ件モアリ、之ヲ以テ七月二十四日衛發秘第三九號ヲ以テ精神病者立廻先調査方ノ件ニツキ各警察署長宛ニ通牒ヲ發シ詳細ニ

内査ヲ逐テ、種別、住所、氏名、立廻先、ヲ七月末必着ノ見込ニテ速報セシメタリ、ソノ結果ハ左表ノ如クナルガ、直ニ種別、住所氏名、立廻先ヲ明記シテ、東京、京都、奈良、愛知、三重ノ二府三縣ニ速報シタリ

非監置精神病患者立廻先調査表

昭和三年八月

關係府縣名	性	種			計
		甲	乙	丙	
東京	女男	—	—	—	—
京都	女男	—	—	—	—
奈良	女男	—	—	—	—
愛知	女男	—	—	—	—
三重	女男	—	—	—	—
計		—	—	—	—

二、精神病患者第一期取締

(一) 視察期間及區域

前述ノ如ク調査ニ調査ヲ重テ警戒ニ取締リニト日夜努力シツ、アリト雖モ、末グニ未監置精神病患者ニシテ行衛不明者アリ、監置義務者ニシテ義務ヲ怠レルモノナド取締上遺憾ノ事實アルヲ以テ愈取締ノ徹底ヲ計ラン爲、八月、九月、十月ヲ第一期ト定メ、十月廿五日ヨリ十一月卅日マデヲ第二期ト定メ、第一期間ニ在リテ八月ニ三回以上、第二期間ニ在リテハ毎日一回以上特ニ注意ヲ必要トスル一六二名ノ精神病患者及私宅監置病者九一名ニ對スル實地臨檢ヲ行ハシムルコト、シ、而シテ各署ニ於ケル取締狀況ヲ視察スル爲ニ、本部ニ於テハ縣下ノ各警察署ヲ六方面ニ區分シテ主任警部一名外五名ノ衛生課員警察官之ヲ擔當セシメ詳細ニ視察報告セシメタリ、其ノ方面區域ハ左ノ如シ

- 第一方面 須磨、林田、兵庫、湊川、相生橋、三宮、葦合
- 第二方面 御影、芦屋、西宮、尼崎、伊丹、寶塚、三田、篠山、廣根
- 第三方面 北條、社、中村、柏原、佐治、生野、福崎、魚橋

第四方面 飾磨、姫路、洲干、龍野、山崎、安積、那波、赤穂、上郡、佐用

第五方面 和田山、八鹿、村岡、出石、日高、豊岡、城崎、香住、濱坂

第六方面 岩屋、志筑、郡家、洲本、市村、福良

(二) 第一期計畫實施狀況

前述ノ如ク、取締計畫ヲ定メタルヲ以テ愈其ノ實行ニ移ルベク八月三日本部ニ於テ各警察署長會議ヲ開催シ、左ノ指示事項ニヨリテ協議ヲ逐グタリ

精神病患者ノ視察取締ニ關スル作

御大禮ニ關シ精神病患者取締ノ第一歩トシテ本年二月中縣下全般ニ互リ一齊取締ヲ行ヒタル以來各署ニ於テハ綿密ナル取締ヲ勵行セラレ居ル處ゲルガ期日ノ接連スルニ伴ヒ一層嚴密ナル視察取締ヲ行フ要アルヲ以テ左記方法ニ依リ特ニ視察ヲ嚴ニ取締上遺憾ナキヲ期セラルベシ

記

- 一、視察期間ヲ二期ニ分チ八、九、十月ノ三ヶ月間ヲ第一期トシ十月廿五日ヨリ御大典終了迄ヲ第二期トス
- 二、第一期間ハ一ヶ月三回以上必ズ各種精神病患者ニ對シ實地視察取締ニ從事スルコト
- 三、第二期間中ハ毎日一回以上視察取締ニ從事スルコト、上書建白其ノ他公安ヲ害スル處アル精神病患者ニ對シテハ毎日實地視察ニ從事スルコト
- 四、各種精神病患者ニシテ京都、奈良、三重ノ各府縣下ニ旅行セントスルモノアルトキハ行先地管轄官衛ニ對シ通報スルコト
- 五、第二期間中精神病患者ニシテ外出又ハ旅行セントスル者アルトキハ可成阻止ノ方法ヲ講ジ若シ不能ノ場合ハ二人以上ノ保護者ヲ附セシメ上書建白其他公安ヲ害スル處アル者ニ對シテハ尾行ヲ附スルコト
- 六、第二期間中上書建白其他公安ヲ害スル精神病患者ニ對シテハ必要ニ應ジ精神病患者監護法第八條但書ニ依リ假監置ヲナシ又ハ行政執行法第一條ヲ適用シテ檢束スル等機宜ノ措置ヲ講ズルコト
- 七、精神病患者視察ニ關シテハ前項ニ依ルノ外左記各號ニ注意スルコト

(1) 未監置精神病患者ノ取締ヲ充分ニシ、殊ニ公安ニ危害ヲ及ボス處アル者、又ハ上書、建白ノ癡アル患者ニ對シテハ嚴重ナル注意ヲ爲スコト

(2) 私宅監置ノ精神病患者ニ對シテハ監置室ヲ精査シ監護ノ方法及逃走防止ニ關シ充分注意スルコト

(3) 精神病院(其他收容所ヲ含ム)ニ於テハ左記事項ニ留意セシムルコト

(イ) 患者ノ逃走暴行放火等ニ對シ綿密ナル警戒ヲ拂フト共ニ病院管理ヲ一層周到ナラシムルコト

(ロ) 未治者ノ退院ニ際シテハ十分調査シ苟モ危險ノ處アルモノハ治療ヲ繼續セシムル方法ヲ講ズルト共ニ保護者ニ對シ監護方法ヲ特ニ指

- (4) 精神病者又ハ精神病ノ疑アル者ニ對シテハ刀劍ヲ所持シ或ハ銃砲火藥類ヲ使用スルガ如キ機會ヲ與ヘザル様充分注意スルコト
- (5) 治療ノ目的ヲ以テ神社佛閣等ニ集合スル患者ニ對シテハ此際特ニ觀察ヲ嚴重ニシ必要アル者ハ監置ノ方法ヲ講ズルコト
- (6) 浮浪徘徊スル精神病者ニ對シテハ迅速ニ盡護義務者ニ引渡ス等適當ナル處置ヲ講ズルコト

茲ニ於テ第一期計畫ノ實行ニ移リ一ヶ月ニ三回以上實地臨檢ヲ行ヒ、旅行外出ヲ禁ジ、新規患者ノ發見ニ努メ、特ニ各精神病者ニ就テ病狀ヲ仔細ニ調査シ監置ヲ要スル程度ノ者ハ監置ノ法ヲ講ゼシメ看護義務者ニシテ義務ヲ履行シ能ハザルモノニ對シテハ所屬市町村長ニ引渡シ監置セシムル等周密ナル取締ヲナシタリ

而シテ八月十六日ニ於テ内務省警秘第七一六號ヲ以テ大體警備戶口調査ニ關スル件通牒アリテ非監置精神病者ニ就テモ特ニ注意スベキヲ指示シ來レリ、之ヲ以テ一齊檢案及戶口調査ヲモ勵行シ、上書、建白、訪問等ノ辦アル者ハ特高課へ通報スルハ勿論、時宜ニ應ジテ本部ニ電話、電報ニテ通報シ取締ノ遺憾ナキヲ期シタリ

(三) 精神病院長ノ招致  
精神病者ニ對スル監護取締ヲ嚴密ニセザルベカラザル此ノ際ニ於テ縣下各精神病院ニ協力ヲ依頼スベキ必要アルヲ以テ九月三日、縣警察部長室ニ各精神病院長ヲ招致シ

- (1) 危險病者監置ニ關スル件
- (2) 退院者取扱ニ關スル件
- (3) 看護人調育ニ關スル件
- (4) 其ノ他

右ノ事項ニツキ懇談協議ヲ遂ゲ左ノ如ク決定シタリ。  
尙當日招致シタル病院長ハ

湊川腦病院、神戸精神病院、須磨精神病院、坂神腦病院、武庫川腦病院  
左ノ五病院ニシテ、各病院ノ現狀ハ左表ノ如シ

打 合 事 項 (九月三日)

- 一、新規入院者ニ對シテハ所轄警察署經由當廳ニ直報セラレタシ
- 二、治療シタル者ニアリテ退院セシメントストキハ退院前所轄警察署ヲ經由當廳ニ通報セラレタシ

- 三、治療セザル者ニシテ義務者ノ經濟上其他ノ事由ニ依リ退院セントスルモノアリタルトキハ退院前所轄警察署經由當廳ニ通報セラレタシ
- 四、前項ノ通報ヲ受ケタル時ハ當廳吏員又ハ所轄警察署員ヲ派遣シ協議ス
- 五、前項ノ視察協議ノ結果精神病者看護法第八條第四項又ハ精神病院法第二條第四號ニ依リ相當考慮スル筈
- 六、看護室、監置室等ノ鎖鑰ハ本月十日ヨリ嚴重檢査スル筈ニ付不充分ト認メラル、個所ニ對シテハ豫メ修理シ置カレタシ
- 七、看護人ニ缺員アラバ此際速ニ補充セラレタシ
- 八、監視ノ場所交代ノ方法等ニ付充分考慮シ監視人ノ勤務ニ付嚴重監督セラレタシ
- 九、不穩ノ文書ヲ發信セントスル場合アリタルトキハ發信前通報セラレタシ
- 十、運動其他ノ事由ニ依リ監置室ヲ出入セシムルトキハ充分警戒セラレタシ
- 十一、前各號ハ五月十日ヨリ實施スルコト
- 十二、十一月一日ヨリハ所轄警察署員ヲ派遣シテ取締ニ專從セシム
- 十三、十一月一日以降御大典終了マデハ萬止ムヲ得ザル者ノ外ハ治療ヲ繼續セシムルコト

私立精神病院調査表

名 稱	組 織	所 在 地	設 立 年 月 日	收 容		計	經 營 者 氏 名	院 長 氏 名
				定 員	六 月 末 現 在 收 容 人 員			
湊川腦病院	合名會社	神戸市湊川町三丁目二	明治三十三年五月廿日	二五〇	一六八	一八二	横川震八郎	細見新治
神戸精神病院	個 人	全町十丁目九	明治三十四年六月十八日	七〇	五九	一三〇	水谷重雄外一名	水谷重雄
須磨精神病院	〃	〃西代四十九番	全三十六年六月三日	一五五	一〇三	一五八	鈴木見輔	鈴木見輔
阪神腦病院	〃	尼崎別所村觀音田五〇	大正十年一月八日	三〇	二四	五四	谷口祝延	谷口祝延
武庫川腦病院	〃	武庫郡鳴尾村砂子	昭和二年二月一日	五五	三七	九二	森村眞澄	森村眞澄

之ヲ以テ同ジク九月三日衛發第四〇七號ヲ以テ警察署長宛ニ、入院中ノ精神病者取締ニ關スル件通牒ヲ發シ縣下各精神病院長ト打合セタル事項ノ詳細ヲ添附シ、如上ノ打合事項ヲ勵行シ精神病者全治退院及未治退院共ニ退院通知ヲ受ケタル場合、監護義務者ニ於テ適當ナル監護ヲナン得ルヤ、又現在ノ病狀ニテ退院セシムルモ危險ノ虞ナキヤ等、充分ノ調査ヲナン成ベク御大典終了迄ハ治療ヲ繼續セシムルヤウ取計ラハシムルコトヲ通報シタリ (別項通牒參照)

(四) 一齊戸口調査

九月十日ヨリ十日間ニ亙リ一齊戸口調査ヲ勵行シ不衛不明者及新規病者ノ發見ニツトメ百六十八名ノ新規患者ヲ發見シタリ、此ノ新規患者ニ對シテハ病狀ヲ仔細ニ調査シ、監置ヲ要スルモノハ夫々其ノ方法ヲ講ジ監護義務者ニシテ其ノ義務ヲ完全ニ履行シ能ハザル者ニ對シテハ所屬市町村長ニ引渡シテ監置セシムルコトトシ、又御大典關係府縣ヘ立廻レル者ニ對シテハ通報ヲナシ、病者ノ一大整理ヲ行ヒテ十月十五日現在ヲ以テ精神病者名簿ヲ作成シテ各警察署ニ送附シ、取締上ノ參考トナサシメ以テ其計測遂行ニ遺憾ナカラシメタリ(名簿略)

斯クテ十月一日衛發秘第一三九號ヲ以テ再ビ、入院中ノ精神病者取締ノ件ヲ各警察署長ニ對シ通牒ヲ發シ、十月中ハ萬止ムヲ得ザル事由アル者ニ限リ嚴重ナル警戒方法ヲ約束セシメテ退院セシムルモ治療費ノ關係ニテ退院セシメントスル者ニ對シテハ精神病院法ヲ適用シテ入院ヲ繼續セシメ、又他府縣ノ患者ニシテ強テ退院セントスル者ニ對シテハ該府縣ヘ詳細ヲ通知シ精神病者ノ視察取締ニ遺算ナキヲ期スベク、通牒シタリ(別項通牒寫參照)

(五) 監護義務者ニ對スル警告

精神病者視察取締ノ爲本部ヨリ課員ヲ派遣シ峻嚴ナル監督調査ヲ行ヘルガ、各方面ニ於テ第一期計畫ハ着々効ヲ奏シ、監督場ヲ破壊シテ逃走シタルモノ、非監置病者ニシテ實父ヲ殺害シタル事例等兇暴性ノモノヲ發見セシノミナラズ、上書建白ノ辭アル者、要注意ノ者等ヲ發見シ、尙監護義務者ニシテ怠慢ナル者等詳細ニ知ルヲ得タリ、之ヲ以テ十月八日、衛發秘第四號ニヨリテ、御大典期日モ通りタルヲ以テ愈々細心ナル注意ヲ周知ナル用意ヲ以テ取締ヲナスベキコトノ訓達ヲ發セラル、ト共ニ(別項訓達寫參照)同日衛發秘第四八五號ヲ以テ精神病院ニ入院セル病者ニ對シテハ特ニ監護上周到ナル注意ヲナス必要アルヲ以テ未治退院ヲナサントスル病者ノ監護義務者ニ對シ此ノ趣旨ヲ一層徹底セシムルヤウ配意シ私宅監置ヲ廢止セントスル場合ニ於テモ、本件準用ノコトヲ通牒ニ及ビタリ(別項通牒寫參照)

之ヲ以テ監護義務者ニ於テ義務ヲ履行シ能ハザル者ニ對シテハ所屬市町村長ニ引渡シ監置セシムルコト、シタリ。

九月一日ヨリ十日間一齊ニ行ハレタル戸口調査實施ノ結果百六十八名ノ精神病者ヲ發見シタルハ前述ノ如クナルガ、之ヲ以テ察スルニ今尙發見ニ至ラザル逸脱者アルヤモ知レズ、從來事件ヲ惹起シタル者ハ多ク視察圈外ニアル者ヨリ發生シタル經驗ニ徴シ愈々警戒ヲ嚴ニスベキ要アルヲ以テ十月十二日衛發秘第五一號ヲ以テ各警察署長宛ニ精神病者發見並ニ視察取締ニ關スル件通達ヲ發セラレタリ

三、精神病者第二期取締

(一) 精神病者外出ノ阻止

取締計畫ハ第二期ニ入りテ愈々嚴トナリ十月廿五日ヨリ御大典御終了期間迄ハ毎日一回以上受持巡查若クハ視察專從者ニ於テ實地臨檢視察取締ニ從事セシムルコト、シ十一月五日衛發秘第一六八號ヲ以テ未監置精神病者視察取締ノ件通牒ヲ發シ從來稍緩慢ニ流レツ、アル丙種精神病者ニ就テモ御大典終了迄ハ外出阻止ノ方針ヲとり、止ムヲ得ザル事情ノ爲外出スル者ニ就テハ確實ナル保護者ヲ付シ或ハ尾行スベキコトヲ徹底的ニ行ハシムルコト、

セリ(別項通牒寫參照)

十一月八日衛發秘第一七二號ニヨリ、非監置精神病者外出阻止ニ關スル件通牒ヲ發シ、丙種精神病者申外出又ハ旅行シ御大典關係府縣ヲ立廻リテ取押ヘ送還等ノ爲ニ尠カラザル手續ヲ要シタル事例アルニ依リ、御大典終了迄ハ保護者ヲ附スルト否トニ拘ラズ、外出阻止ノ方法ヲ講ジ強テ外出ヲ企ツル者アル時ハ外出前稟申指揮ヲ受クベキコトヲ指示シタリ(別項通牒寫參照)

(二) 入院中ノ病者取締

神戸精神病院外四ヶ所ノ病院ニ入院中ノ病者ノ取締トシテハ十月廿五日ヨリ御大典御終了迄ノ間所轄警察署ヨリ相當數ノ警察官ヲ派遣シテ晝夜兼行取締リニ從事セシムル外病院經營者ヲシテ不寢番ヲ置カシムルコト、シ特ニ此ノ期間中ハ重病其他ノ事由ニ依リ絕對ニ外出不能ト認ムル者ノ外退院ヲ禁止シタリ。

(三) 寺院其他ニ參集スル病者ノ取締

治療ノ目的ヲ以テ寺院其他ニ參集スル病者ノ中ニハ精神病者ト認ムベキ程度ノ者尠カラズ、故ニ十月廿五日ヨリ御大典御終了マデノ間之等寺院ヲシテ特ニ相當數ノ監視人ヲ置カシムル外所轄署ヨリ警察官ヲ派遣シテ取締リニ專從セシメタリ

(四) 各署取締狀況ノ監査

各署ニ於ケル精神病取締狀況ノ監査ハ第一期ニ於テモ行ヒタル所ナルガ第二期計畫ニ於テ毎月十日毎ニ縣内ヲ六方面ニ分テ、主任警部外五名ノ衛生課員ヲ派遣シテ督勵ニツトメタリ。

而シテ十一月十二日、十三日兩日ニ於テハ午前七時ヨリ午後四時マデ各警察署管内一齊ニ精神病者ノ檢索ヲ行ヒ現ニ所在不明ノ者及檢索ノ結果ヲ速報セシムルヤウ特高第二二七號ヲ以テ通達ヲ發セラレタリ(別項通達寫參照)

檢索ノ結果左ノ如シ。

精神病者一齊檢索實施成績

(十一月十二日)

要項	性別		計	要項	性別		計
	男	女			男	女	
新規發見	三	三	六	轉檢轉	三	三	六
行衛不明發見	一	一	二	計	一	一	二
死亡	一	一	二	出東入	五	五	一〇
再發	一	一	二		三	一	四
					三	一	四
					八	一	九